環境共生課

環境共生保全費	115
協働の森づくり事業費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	116
オフセット・クレジット推進事業費	117
清流保全推進事業費	119
四万十川総合対策費	120
希少動植物保護対策事業費	121
自然公園等施設整備事業費	123
自然公園等管理費	124
牧野植物園管理運営費	125
公園施設等災害復旧事業費	126
自然保護基金管理費(特別会計)	127

事業名	平成23年度	平成23年度	平成24年度	左	の 財 源 内	訳
事 亲 名	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環境共生保全費	5, 417	5, 417	5, 519		(諸) 10	5, 509

1 目的

自然環境保全の総合的な推進を図るために、環境審議会自然環境部会の開催、環境影響評価(アセスメント)の審議、国の環境影響評価法の一部改正を受けた県条例の改正の審議及び自然環境情報の発信等を行う。

2 内容

- (1)環境審議会開催経費 (184千円 (一)184千円)
 - 高知県環境審議会自然環境部会の開催
- (2)環境影響評価(アセスメント)技術審査会等開催経費 (992千円 (一)992千円)
 - ・環境に著しい影響を及ぼす恐れのある開発事業の実施に先立ち、環境影響評価(アセスメント)の審査 会を開催
 - ・環境影響評価法の一部改正を受け、県条例の改正に向けて、高知県環境審議会を開催
- (3)環境共生保全事務費 (4,343千円 (一)4,333千円 (諸)10千円)
 - ・環境行政の円滑な推進を図るための各種連絡会議への出席や関係機関との連絡調整等の事務費

事業名	平成23年度	平成23年度	平成24年度	左	の 財 源 内	訳
事業名	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
協働の森づくり事業費	4, 314	4, 314	3, 928			3, 928

1 目的

温室効果ガス削減に関心の高い企業を対象として、二酸化炭素吸収機能に着目した森づくりに協力してもらうため「環境先進企業との協働の森づくり事業」の企画立案と提案を行う。

また、森と密接な繋がりを持つ川・海の環境保全をテーマとし、新たな活動メニューを企画・提案することによる企業の環境・CSR活動の誘致及び企業等の持つ助成制度を県内のNPO等とマッチングさせることで、地域活動の活発化と環境の保全を図る。

- 2 内容
 - (1)職員研修負担金

120千円

(2)事務費(協働の森フォーラムの開催を含む。)

3,808千円

- 3 平成23年度に実施した主な事業の実績
 - (1)協働の森づくり事業
 - ①協働の森パートナーズ協定締結・・・・・新規6件・更新12件(協定企業55、協定のべ数57件)
 - ②企業と地域との交流活動実施・・・・・・45回 参加者数 約2,600名
 - ③СО2吸収専門委員会 ……2回開催
 - ④CO2吸収証書発行······38件·吸収量12,883t-C02
 - ⑤協働の森フォーラム・・・・・・・・・・・・企業31・市町村等33
 - (2)協働の川、協働の海づくり事業
 - ①協働の川パートナーズ協定に伴う寄付・・・・・3件
 - ②協働の川パートナーズ協定締結・・・・・・・新規1件・更新1件

事業名	平成23年度	平成23年度	平成24年度	左	の 財 源 内	訳
事 未 石	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
オフセット・クレジット推進事業費	47, 735	47, 735	47, 425		(入) 13,773 (諸) 4,200	29, 452

1 目的

豊かな森林資源を温暖化対策に活用するとともに、オフセット・クレジット等の創出を行い、雇用創出 や森林整備につなげていく。

また、協働の森づくり事業の間伐整備により増大した森林吸収量を認証し、吸収証書を発行するほか、 県産材を用いた木造住宅のCO2固定量を認証し、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし、 県産材の利用を促進する。

2 内容

(1)排出量取引 (CO2排出削減) プロジェクト事業費 (18,677千円 (一)18,677千円) 未利用林地残材の混焼を委託し、削減された CO2 を J-VER クレジットとして取得・販売し、得られた 資金により森林整備の推進と雇用の拡大を図る。

委託先:住友大阪セメント(株)高知工場

(2) 排出量取引 (CO2 吸収) プログラム認証等事業費 (16,948 千円 (一)3,175 千円 (入)13,773 千円) プログラム認証による県内森林吸収プロジェクトの県認証にかかる審査及び県オフセット・クレジット認証センターの運営全般を委託する。

委託先:(社)高知県山林協会

(3) CO2 木づかい運動推進事業費(476 千円 (一)476 千円)

C02木づかい固定量認証専門委員会を開催し、認証について審査を行い、県産材を用いた木造住宅や 公共建築施設、木製品のC02固定量を認証する。

- (4) J-VERクレジット販売促進等事業費 (5,624千円 (一)1,424千円 (諸)4,200千円) 排出削減・森林吸収J-VERの販売促進を図るため、営業や情報収集の体制を強化するとともに、オフセットプロバイダ等にクレジットの販売を委託することで新たな販売方法を確立させる。
- (5)高知県J-VER制度サポート事業費 (496千円 (一)496千円) 高知県J-VER制度利用者への普及促進を図るため、説明会や研修会を開催するとともに、企業とのマッチングイベント等に参加し、発行クレジットの販売促進をサポートする。
- (6)カーボン・オフセット等普及・審査効率化事業費 (5,204千円 (一)5,204千円) 県内の森林資源を活用したプロジェクトの検証業務ができる地方検証人育成、及びクレジット等の創出制度の普及等の業務を委託する。

委託先:財団法人高知県産業振興センター

- 3 平成23年度までに実施した主な事業の実績
 - (1)オフセット・クレジットの発行(平成24年3月31日現在)
 - ・木質資源エネルギー活用事業 8,454t-C02
 - (うちH20は899 t-C02、H21は1,932 t-C02、H22年は3,089 t-C02、H23年は2,534 t-C02)
 - ・森林吸収量取引プロジェクト 285t-C02
 - (うちバッファー8t-C02)
 - (2) 売却状況 (平成24年3月31日現在)
 - ·50件 売却済み 6,042 t -C02
 - (うちH20は899t-C02、H21は1,742t-C02、H22は1,743t-C02、H23は1,658t-C02)
 - (3)高知県J-VERプロジェクト 登録・認証・発行状況 (平成24年3月31日現在)
 - ・10件登録、8件認証、5件発行

事業名	平成23年度	平成23年度	平成24年度	左	の 財 源 内	訳
事業名	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
清流保全推進事業費	1, 335	1, 335	1, 335		(入) 650	685

1 目的

本県の恵み豊かな清流を次世代へ引き継ぐため、清流保全基本方針に基づいて策定した清流保全計画をベースに、流域住民や団体等との協働のもと、健全な水循環の保全・再生を図る。

2 内容

(1)物部川清流保全計画・第2次仁淀川清流保全計画の着実な推進

物部川清流保全計画及び第2次仁淀川清流保全計画の推進母体として設立した物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会を、流域住民や事業者、国や流域市町村などと協議しながら運営し、具体的な取組を進めていく。

(2)清流保全計画の指標収集と環境学習への支援

清流保全計画に基づく取組の達成状況を把握する指標を収集するとともに、流域の小学生らが川に親しみながら、環境学習の一環として水生生物の調査などに取り組むことが出来るように支援する。

〔主要な節内訳〕

- ·清流保全条例推進事業費 (685千円 (一)685千円)
 - ①物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会委員報償費 405千円
 - ②事務費(旅費、使用料及び賃借料)

280千円

- ・清流保全計画指標モニタリング事業費 (650千円 (入)650千円)
 - ①事務費(需用費) 650千円
- 3 平成23年度に実施した主な事業の実績
 - (1)物部川清流保全推進協議会の取組
 - ・代掻き時期における濁水対策の啓発チラシの作製・配付
 - 一斉清掃の実施の決定
 - ・子供たちへの環境学習の企画づくり
 - (2)仁淀川清流保全推進協議会の取組
 - 一斉清掃の実施
 - ・仁淀川シンポジウムの開催

事業名	平成23年度	平成23年度	平成24年度	左	の 財 源 内	訳
事業名	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
四万十川総合対策費	9, 958	8, 696	10, 973		(入) 474	10, 499

1 目的

四万十川の総合調整を推進するため、国や愛媛県、流域市町、関係団体及び住民団体などとの連携を図り、 四万十川条例に基づいて、生態系や景観、生活文化財産の保全及び地域振興との調和を図るとともに、保全と 振興の実践組織である四万十川財団の事業を支援する。

2 内容

- (1)流域市町と連携しての生活文化財産の保全に向けての取組(重要文化的景観を活用した流域の振興)
- (2) 共生モデル地区における住民と行政との協働の取組(四万十くろそん会議他)
- (3) 重点地域における許可制度の運用
- (4)四万十川流域の中核的実践組織である四万十川財団の支援

〔主要な節内訳〕

- ·四万十川流域保全振興委員会費 (595千円 (一)595千円) (委員報酬、委員旅費)
- ・重点地域等管理費 (3,540千円 (一)3,540千円)
 - ①四万十川流域保全振興委員会運営委託料 392千円

契約方法:指名競争入札 委託 先:コンサルタント等

②四万十川流域住民意識調查委託料 1,515千円

契約方法:指名競争入札 委託先:コンサルタント等

③事務費 1,633千円

(報償費、旅費、需用費等)

- ・清流基準モニタリング事業費(旅費、需用費) (474千円 (入)474千円)
- ・四万十川財団活動推進事業費 (5,208千円 (一)5,208千円) (四万十川財団運営費補助金)
- ・その他事務費(報償費、旅費、需用費等) (1,156千円 (一)1,156千円)
- 3 平成23年度に実施した主な事業の実績
 - (1) 文化的景観連絡協議会、四万十川グリーンツリズム連絡会との連携による流域の振興に係る取組
 - (2)四万十くろそん会議の運営としまんと黒尊むらの取組との連携
 - (3) 重点地域における許可制度の運用

事業名	平成23年度	平成23年度	平成24年度	左	の 財 源 内	訳
事業名	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
希少動植物保護対 策事業費	7, 932	7, 932	19, 304	6, 800	(入) 9,250 (諸) 6	3, 248

1 目的

県内に生息・生育する希少な野生動植物の保護を図ることにより、生物多様性の保全及び自然との共生に寄与し、健全な自然環境を将来の県民に継承する。

2 主な内容

(1) 保護対策事業費(1,236千円(一)1,236千円)

高知県希少野生動植物保護条例に基づき、県内に生息、生育する希少野生動植物の保護に関する検討、 対策等及び高知県うみがめ保護条例に基づく保護区の管理等を行う。

また、外来生物法による特定外来生物の拡大防止のための対策を行う。

(2) 希少野生植物食害対策事業費 (9,250千円 (入)9,250千円)

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネット設置及び既設ネットの箇所のモニタリング調査等の業務を委託する。

①調査業務委託料(2,442千円(入)2,442千円)

内 容:ニホンジカの食害による希少野生植物への影響調査、ヒアリング等を行い、専門的知 見による防護柵設置計画を作成する。

委託先: (財) 高知県牧野記念財団

②防護柵設置業務委託料 (2,912千円 (入)2,912千円)

内 容:防護柵設置計画に基づいた防護柵設置業務を行う。

委託先:高知県森林組合連合会

③モニタリング調査業務委託料 (3,896千円 (入)3,896千円)

内容:平成23年度までに設置した防護柵の効果を把握するための、モニタリングやヒアリン

グを実施する。

委託先:(株)西日本科学技術研究所

- (3)生物多様性地域戦略策定事業費 (8,818千円 (一)2,012千円 (国)6,800千円 (諸)6千円) 生物多様性基本法に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な県の計画を策定 することにより、地域の特性に応じた具体的施策を推進する。
- 3 平成23年度に実施した主な事業の実績
 - (1) 希少野生植物食害対策事業の実施

県内におけるニホンジカの食害による希少植物への影響調査及び対策の実施

(2)特定外来生物防除対策の実施 県東部で発生したセアカゴケグモの拡大防止のための	専門家現地調査や関係機関との調整等
(3) 県指定希少野生動植物の保護対策 指定種に関するホームページ作成による県民への周知 指定種生育地の地域住民との整備活動や生息地の専門	

事業名	平成23年度	平成23年度	平成24年度	左	の 財 源 内	訳
事業名	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等施設整備事業費	7, 173	21, 190	13, 314	4, 950		8, 364

1 目的

自然公園を訪れる観光客の安全性を図るため、施設整備を行った箇所において、長年の使用等により老朽化したものや危険な箇所等を修繕する。

2 内容

- (1)施設改修工事等の実施(12,824千円(国)4,950千円(一)7,874千円)
 - · 遊歩道等改修工事等
- (2)足摺岬展望台解体工事測量設計委託(347千円(一)347千円)
- (3)その他事務費 (143千円 (一)143千円)
- 3 平成23年度に実施した主な事業の実績
 - (1)観音岩展望台改修工事の実施
 - (2) 臼碆展望台撤去工事の実施
 - (3)月見山こどもの森遊歩道等改修工事の実施
 - (4) 大堂猿のみち手摺り等改修工事の実施

事業名	平成23年度	平成23年度	平成24年度	左	の 財 源 内	訳
事業名	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等管理費	13, 661	13, 661	13, 608		(諸)3,558	10, 050

1 目的

自然公園法及び県立自然公園条例により指定された国定公園や県立自然公園などの保護管理を充実させるとともに、公園利用の適正化を図る。

2 内容

- (1) 自然公園管理費 (319千円 (一) 319千円)
 - ・現地調査等に要する活動旅費等
- (2) 県立こどもの森管理運営費 (7,382千円 (一)3,824千円 (諸)3,558千円)
 - ①月見山こどもの森管理運営委託料 (7,308千円 (一)3,750千円 (諸)3,558千円)

内 容:県立月見山こどもの森施設の指定管理者による管理代行料

指定期間: H24. 4. 1~H27. 3. 31 (3年間)

指定管理者:情報交流館ネットワーク ②その他事務費 (74千円 (一)74千円)

- (3)四国のみち管理費(5,571千円(一)5,571千円)
 - ・四国のみち管理委託料 (5,571千円 (一)5,571千円)

内 容:昭和56年度から整備した長距離自然歩道(四国のみち)の維持管理に要する委託料

委 託 先:18市町村、高知市森林組合、野根山街道保存協議会

路 線 数:36ルート(延長411.3 k m)

- (4)自然公園指導員活動強化事業費(336千円(一)336千円)
 - ・自然公園指導員の資質向上を図るための研修会の開催等
- 3 平成23年度に実施した主な事業の実績
 - ・県立月見山こどもの森の指定管理(指定期間: H21.4.1~H24.3.31)
 - ・四国のみち管理委託の実施(36ルート、411.4km)
 - ・自然公園指導員研修会の実施(3カ所)

事業名	平成23年度	平成23年度	平成24年度	左	の 財 源 内	訳
事業名	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
牧野植物園管理運 営費	317, 549	325, 957	346, 124		(使) 29 (入) 2,037	344, 058

1 目的

牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するととも に、県民に対し憩いの場を提供する。

2 内容

- (1)牧野植物園管理運営(344,087千円(一)344,058千円(使)29千円)
 - ・牧野植物園の管理を指定管理者に行わせる。
 - ①牧野植物園管理運営委託料(管理代行料)(325,906千円 (一)325,877千円 (使)29千円)

指定期間:平成23年4月1日~平成28年3月31日(5年間)

指定管理者: (財) 高知県牧野記念財団

- ②その他事務費(18,181千円 (一)18,181千円)
- (2) 牧野植物園広報活動事業費(2,037千円(入)2,037千円)
 - ・牧野植物園で牧野富太郎生誕150年記念事業を開催するに当たり、実施体制を強化する。
 - ①重点分野雇用創造事業実施体制強化委託料(2,037千円(入)2,037千円)

委託内容:牧野富太郎生誕150年記念事業の実施体制の強化

委 託 先: (財) 高知県牧野記念財団

- 3 平成23年度に実施した主な事業の実績
 - (1) 牧野植物園管理運営委託の実施
 - (2) 牧野植物園第二期整備事業等の実施
 - ・薬用植物等活用促進費補助金の交付
 - (3) 志国高知龍馬ふるさと博連携事業の実施

事業名	平成23年度	平成23年度	平成24年度	左	の 財 源 内	訳
事 耒 泊	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
公園施設等災害復 旧事業費	5, 000	5, 000	5, 000		(債) 5,000	

1 目的及び内容

自然公園区域内の施設が降雨、暴風、洪水、津波その他異常な自然現象によって被災または破損した場合に、当該施設を原型に復旧する。

2 平成23年度に実施した主な事業の実績 対象となった災害なし

事業名	平成23年度	平成23年度	平成24年度	左 の 財 源 内 訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然保護基金管理 費 (特別会計)	1, 122	1, 122	1, 124		(使) 29 (財) 294 (越) 801	

1 目的

高知県自然保護基金条例及び高知県自然保護基金管理規則に基づき、県内の自然環境に優れた土地を 取得し、自然保護を推進する。

2 内容

県が取得した土地の維持管理を行う。

3 平成23年度に実施した主な事業の実績 県有地内において管理の支障となっている草刈りを実施